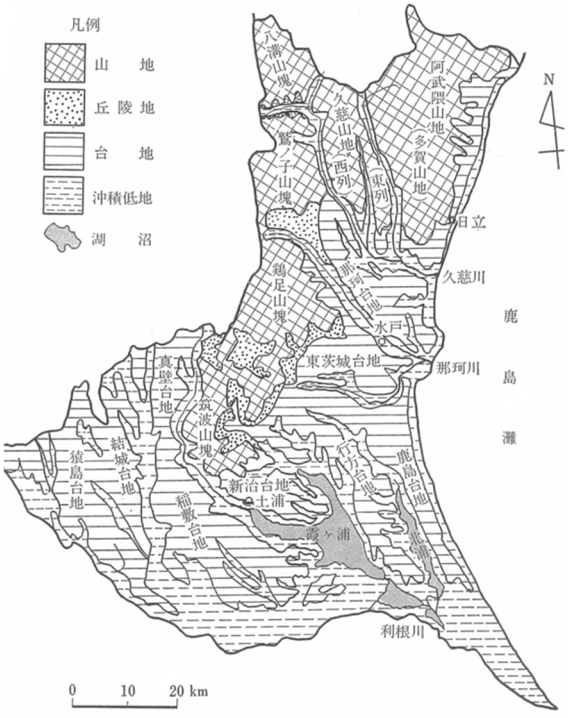
城里町の地勢と気象



城里町は、茨城県中央部の県央地域に位置する。北は常陸大宮市に、東は那珂市に、南は笠間市と水戸市に、西は栃木県(茂木町)に接している。町の北東部(常陸大宮市、那珂市との境)を那珂川が流れている。那珂川は、栃木県と福島県の県境に位置する那須岳を水源とする一級河川(国管理)で、ひたちなか市と大洗町の境を経て太平洋に注ぐ。町の南部(水戸市との境付近)、藤井川流域には藤井ダムがあり、水戸市で那珂川と合流する。

地形は、那珂川沿いが沖積低地、台地(東茨城台地)を挟み、町の大半は山地で鶏足山塊(八溝山地)に含まれる。主な山としては、町の北部に高取山(標高 356m)や津室山(標高 321m)が、町の南西部には国見山(標高392m)が、 町の西部(栃木県茂木町との県境)には鶏足山(標高431m)や花香月山(標高378m)などがある。

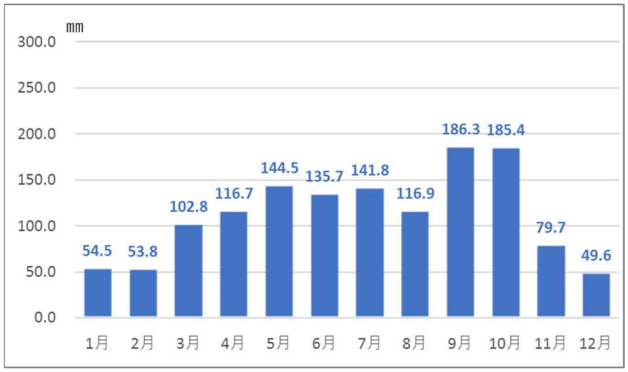


茨城県の地形区分(出典:茨城県　地学のガイド;1977, コロナ社)

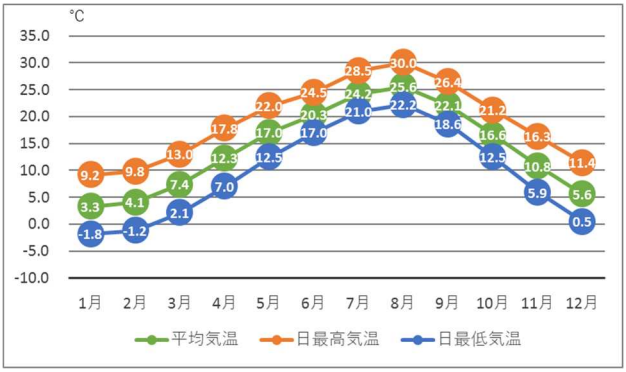
気候は、太平洋側気候で、山岳地域では山岳気候の特徴を併せ持つ。夏季は、太平洋高気圧から吹き出す南よりの風の影響で高温多湿となり雨も降りやすい。冬季は、乾いた北西の季節風が吹き、晴天の日が多く、降雪は少ない。山岳地域では、複雑な地形の影響を受けるため、気候の地域差が著しい。

降水は、冬は少なく、春から夏にかけては梅雨前線の影響などで徐々に多くなり、秋は秋雨前線や台風の影響などで更に突出して多くなる。年降水量の平年値(水戸)は 1367.7 ㎜である。

気温は、夏に 35° C 以上の猛暑、冬に −10° C 以下となることもあるが、平年の気温(水戸)は、夏季の日最高気温が30.0℃、冬季の日最低気温が −1.8℃で、年平均気温は14.1℃である。



水戸の降水(月ごとの平年値)　1991 年～2020 年の統計値



水戸の気温(月ごとの平年値)　1991 年～2020 年の統計値

水戸の平年値・極値はこちらから
https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=40&block_no=47629&year=&month=&day=&view=